

環境省 持続可能な開発目標（SDGs）活用した
地域の環境課題と社会課題を同時解決するための民間活動支援事業
＜2カ年事業計画＞

鶴岡市三瀬地域 木質バイオマスエネルギー 自給自足活動事業

鶴岡市三瀬地区自治会

①- 1 地域課題の整理

■ 地域の状況や課題背景

・山形県鶴岡市三瀬地区の現在の人口は約1,400人で、20年前に比べ約30%の人口が減少しており、さらに20年度には現在の人口より50%減少すると推計され、人口減少が加速的に進んでいる。また、人口の減少にともない、地域住民の交流機会や活力も失われつつある。

・昭和30年代までは林業が盛んな地域で、三瀬地区内に8つの製材所があり、雇用の受け皿となっていたが、ほとんどの施設、一般家庭等での石油、ガス、電気等の化石燃料の利用及び海外からの木材輸入増加により国内の木材利用の減少とそれにともなう販売価格の下落、また、価格の下落にともなう担い手者の大幅な減少の要因により、森林の管理が行われなくなり、森林が荒廃している。そのような状況であることから、地域内住民の森林への関心が著しく低下している。

・地域内の森林から木材を伐採し、地域内の製材所で製材し、地域内外に木材として販売を行い、さらには森林管理及び担い手の育成を行い、経済循環を行ってきたが、近年においては上段の状況から林業の衰退により、地域内経済循環が衰退している。

■ 何と何の地域課題の解決に取り組むか

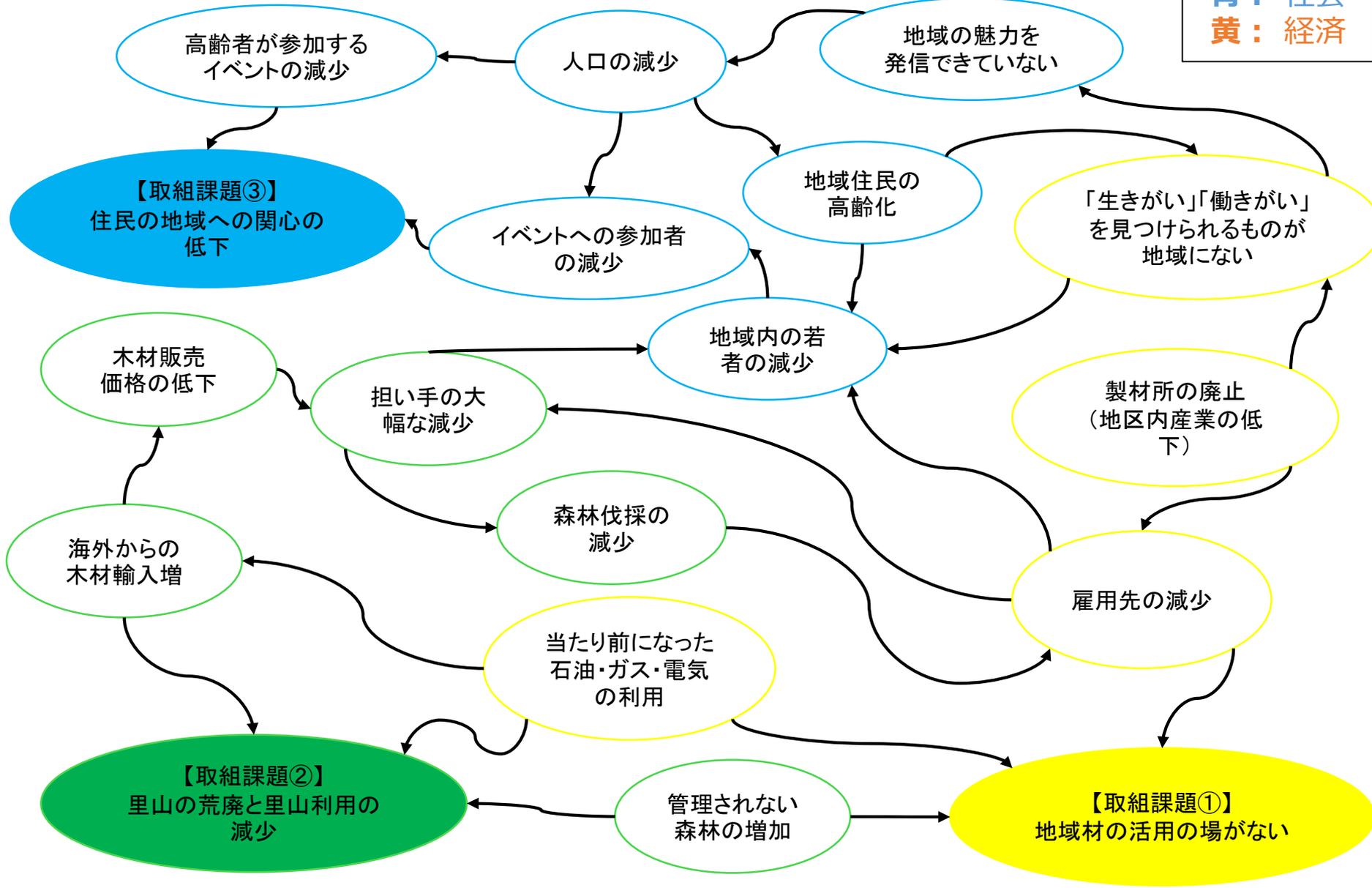
①地域材の活用の場がない

②里山の荒廃と里山利用の減少

③住民の地域への関心低下

①-2 地域課題の整理（課題と課題の関係図） ※①-1を明示してください。

緑：環境
青：社会
黄：経済



② 事業の整理 (同時解決マップ)

【解決した地域の状態】

- ・コミュニティセンター、保育園、福祉施設への薪ボイラー・ストーブの導入がモデルとなり、地域内で薪ボイラー・ストーブを利用する住民が増え地域材の活用が増える。その結果地域内で製材所などの雇用が生まれ、地域の人口増加、活性化につながる。
- ・薪やSDGsをテーマとしたイベントや、健康維持・健康促進できるイベントが恒例化し、世代間交流の場が形成されている。またそのイベントに地域外からの参加者が増加する
- ・エネルギー貨幣換算で1億円の地域外流出が5000万円まで減額できる



3,4,7,8,11,15

最終目標

この取組 (5年間) で何をを目指すか

- ・森林の伐採・販売、薪の加工・販売の流れが確立され、地域内経済循環が作られる
- ・住民が地域の里山の状況を把握し、再生可能エネルギーの利用を検討する

- ・地域住民全世代が参加できるイベントの継続により、交流の輪が広がる。
- ・薪ストーブの導入により、その場所が交流の場所となり、地域住民の交流が盛んになり、それが活力へとつながってくる

2か年の成果目標

- ・コミュニティセンター、保育園、高齢者福祉施設へ薪ボイラー・ストーブが導入される。
- ・薪の再生可能エネルギーとしての価値が見直され、森林への関心が高まる。

- ・再生可能エネルギーとして森林の伐採、薪への加工が行われ、販売される

- ・イベントを継続して開催したことにより、参加者の増加と参加者間での交流の輪が広がる
- ・地域住民のほとんどがSDGsを認識している

- ・三瀬地区の取り組みを県や市と連携し発信し県内だけではなく、全国から注目される地区になる



取組のアイデア

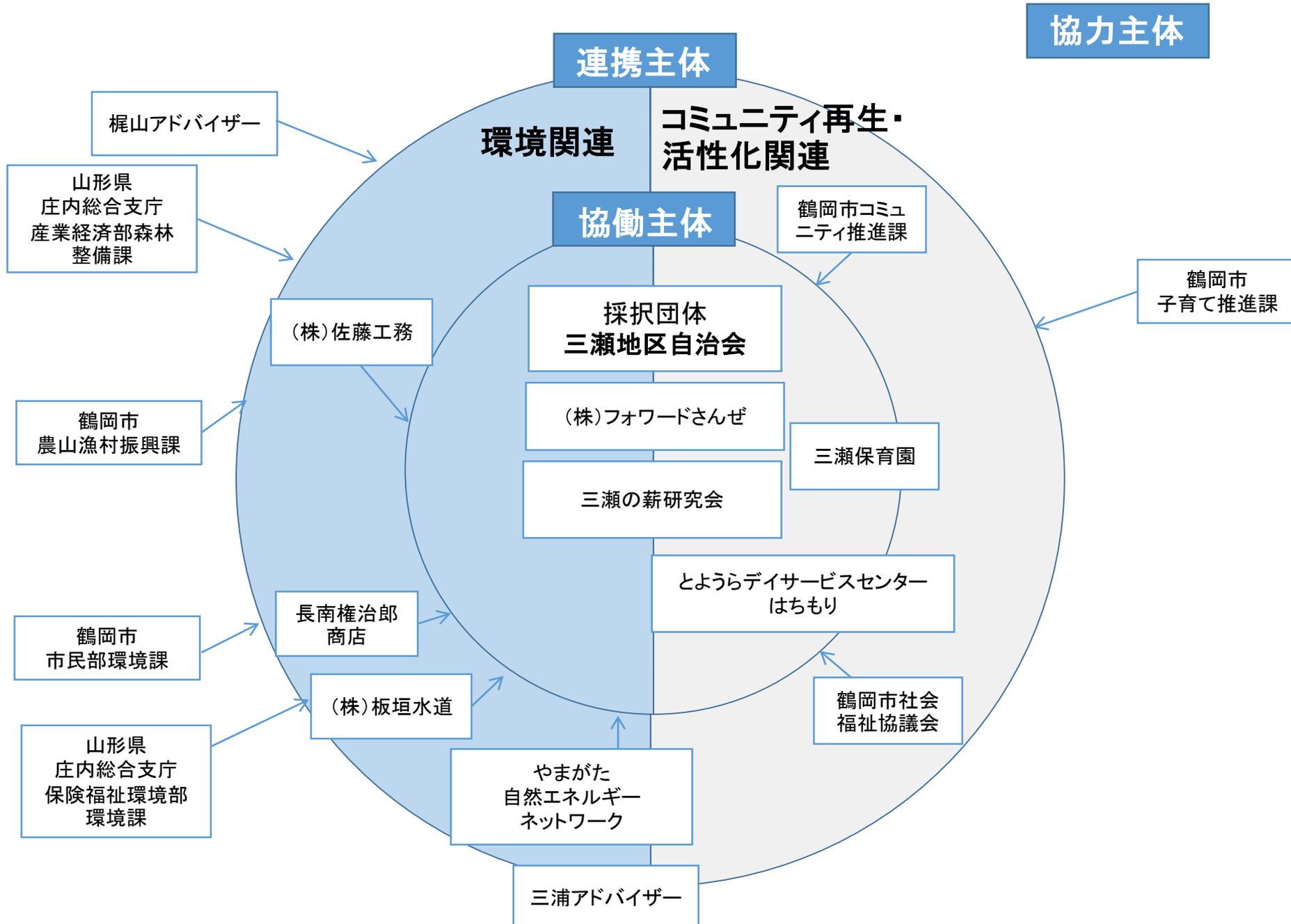
- ・保育園へ薪ボイラーを導入し、薪に触れることにより地域の森林について学び、興味をもたせる

- ・森林の木材としての伐採及び加工から、再生可能エネルギーとしての森林利用や薪としての加工など、新たな利用価値の学習を行い、理解を深める

- ・イベント告知パンフの作成を行い、多くの住民に参加してもらう
- ・さらにイベントを通じて、森林への関心やSDGsについて勉強する場をつくる

- ・薪ストーブの導入に向け、導入先候補施設にプロジェクトチームに入ってもらい、実現に向けて共に取り組んでいく。
- ・さらに、導入に向け山形県及び鶴岡市にも事業に参加してもらい、補助等の実現を図る

③ 運営体制の整理（ステークホルダーとの関係性）



④ 平成30年度末までの到達目標

項目	目標 (課題に対してどの程度解決に繋がる取組が進められるか)
<p>【取組課題①】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域材の活用の場がない 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育園に薪ボイラーを設置し、木材を地域内で利用するための受け皿を作る。 ・森林の木材としての伐採及び加工から、薪・チップなど再生可能エネルギーとして利用するための加工方法などに取り組むとともに、食器、箸など新たな利用価値の学習を行い、理解を深める。 ・三瀬コミュニティセンター及び高齢者施設へ平成31年度中の薪ボイラー・ストーブ導入に向け、鶴岡市及び鶴岡市社会福祉協議会との協議の場の設置し、導入を目指す。
<p>【取組課題②】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・里山の荒廃と里山利用の減少 	<ul style="list-style-type: none"> ・里山の状況を知らない地域住民にイベントの中で、森林の価値、管理の大切さ等について勉強会等を行い、理解を図る。 ・地域の森林資源搬出・再造林の進捗を確認する。
<p>【取組課題③】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民の地域への関心低下 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者も参加できる雪山散策イベントを開催し、森林への興味を持ってもらうとともに、参加者の健康促進またイベントを通じてコミュニティがうまれるきっかけになる ・地域住民にSDGsの理解を深めてもらう内容をイベントに組み込むと同時に、三瀬地区自治会の取り組みがSDGsのたくさんの目標に取り組んでいることを理解してもらう。 ・保育園への薪ボイラー導入により、地域の木材で薪を作る、使う等の実体験を伴う環境教育の場をつくる。

⑤ 本事業計画の見通し

■ 事業期間内（2カ年）の到達目標

項目	目標 (課題に対してどの程度解決に繋がる取組が進められるか)
【取組課題①】 ・地域材の活用がない	・コミュニティセンター、保育園、高齢者福祉施設へ薪ボイラー・ストーブが導入される ・3施設への薪ボイラー・ストーブの導入から地域資源を地域内で使うモデルを作る ・薪ボイラー・ストーブの導入及び導入計画により、森林の再生エネルギーとしての価値が見直され、地域住民の森林への関心が高まる
【取組課題②】 ・里山の荒廃と里山利用の減少	・里山の間伐などの整備を行いつつ、間伐材が薪へと加工され、販売される ・地域住民の里山の状況への理解が深まる ・森林の整備状況マップを作成し、現状把握とともに今後の森林整備計画を関係者でわかりやすく共有する ・山に関心を持ってもらえるよう、紅葉や山菜取りなど季節的なイベントとの組み合わせで新たに計画を立てる
【取組課題③】 ・住民の地域への関心低下	・保育園で環境教育を行うことにより、保護者の木質バイオマスエネルギーへの関心が高まる。またそこに地域の多くの人に関わることで、コミュニティが生まれる ・事業に関わるステークホルダーや薪ボイラー・ストーブ導入施設の関係者がSDGsを認識している ・三瀬地区の取り組みを県や市と連携し発信し県内だけではなく、全国から注目される地区になる

■ 5年後（事業期間終了から3年後）の取組と地域像

取組の状況や地域課題に対してどのような影響を与えているか
・森林の伐採・販売、薪の加工・販売の流れが確立され、地域内経済循環が作られる ・住民が地域の里山の状況を把握し、一般家庭においても再生可能エネルギーの利用を検討する ・地域住民全世代が参加できるイベントの継続により、交流の輪が広がる ・薪ストーブの導入により、その場所が交流の場所となり、地域住民の交流が盛んになり、それが活力へとつながってくる ・保育園での薪をテーマとして地域の多くの関係者を巻き込んだ環境教育プログラムが作成される

⑥- 1 課題解決に向けたスケジュール（平成30年度）

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
事業全体の予定	打ち合わせ 第1回	キックオフ 全国		打ち合わせ 第2回	地域連絡会 第1回		打ち合わせ 第3回	自己評価	地域連絡会 第2回	中間報告書
【取組課題①】 ・地域材の活用 の場がない			木質バイオ検証確認							
【取組課題②】 ・里山の荒廃と里 山利用の減少		全体会議	導入3プロジェクト会議	導入3プロジェクト分科会議 一般啓蒙プロジェクト会議	資源管理供給プロジェクト会議	イベント及び勉強会の開催	導入3プロジェクト分科会議	全体会議	イベント雪山散策の開催	
【取組課題③】 ・住民の地域への 関心低下				チラシ作成・配布			チラシ作成・配布			

⑥-2 課題解決に向けたスケジュール（平成31年度）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
事業全体の予定	打ち合わせ 第1回	地域連絡会 第1回				打ち合わせ 第2回	地域連絡会 第2回			打ち合わせ 第3回	最終報告会	報告書提出
【取組課題①】		各プロジェクトによる取り組み										
【取組課題②】		全体会議	各プロジェクト毎の会議			各プロジェクト毎の会議	イベント及び勉強会の開催		各プロジェクト毎の会議	全体会議	イベント及び薪の魅力報告会	
【取組課題③】						チラシ作成・配布			チラシ作成・配布			

⑦ その他補足事項

■ 事業を進める上での課題やリスクとその対策

- ・薪ボイラー・ストーブの導入施設として、保育園、三瀬地区コミュニティーセンター及び高齢者施設の3施設を候補として進めていくが、導入への資金が問題になる。
- ・そのために、山形県及び鶴岡市との連携により、補助金等を利用して進めていく必要がある。
- ・さらには、山形県及び鶴岡市の担当職員へのSDGsの理解を高めていく必要も感じられる
- ・薪ボイラーの導入予定施設である三瀬地区コミュニティーセンターの決定権を持つ鶴岡市に、ボイラー導入の予算組の時期もあるため、市へのアプローチの時期が重要である。
- ・森林への関心を高めるためにイベント及びイベントを通じての勉強会を実施していくが、そのための内容が難しい
- ・地域内経済循環を高めるためには、一般の家庭での薪ストーブ（薪暖炉）等の利用も必要であり、どのように理解してもらうかが課題である

■ その他、留意事項などがあればお書きください

・